

歯科訪問診療の事始め

講師

口腔リハビリテーション多摩クリニック
口腔リハビリテーション科 准教授

佐藤 路子 先生

略歴

2005年 3月 九州歯科大学歯学部歯学科卒業
2009年 3月 九州歯科大学大学院歯学研究科博士課程 修了
2009年 4月 同大学特別研修員
2011年 4月 福岡歯科大学口腔歯学部総合歯科学講座高齢者歯科学分野 助教
2016年 4月 同大学 講師
2017年10月 同大学医科歯科総合病院訪問歯科センター 副センター長
2019年10月～2022年 3月
同大学総合歯科学講座訪問歯科センター 准教授
2022年 4月 同大学定員外臨床教員
2024年 4月 日本歯科大学生命歯学部口腔リハビリテーション多摩クリニック
准教授

現在に至る

地域包括ケアシステムの構築に伴い、歯科訪問診療のニーズは着実に高まっています。先生方もかかりつけ医として診療をされる中で、患者さんの高齢化が進み、訪問診療の依頼が増えているのではないのでしょうか。訪問診療を行うには道具の準備や介護保険制度に関する知識が必要になるため、訪問診療に馴染みがない場合、そのハードルを高く感じてしまいがちです。さらに、訪問診療では、外来診療では関わる機会の少ない看護師や介護支援専門員、介護士などさまざまな職種との協働が求められる場面も出てきます。これらを考えると、訪問診療を始めることに二の足を踏んでしまうかもしれません。

しかし、実際に訪問診療を始めることは、決して難しいことはありません。訪問診療を開始するにあたり、必要なポイントをお話しさせていただきたいと思います。